

令和5年度の主な公益事業の紹介

公1 緑化啓発促進事業

公2 緑の募金事業

公3 県民の森管理運営事業



緑の募金 PR キャラクター
どんぐり君



緑の募金 PR キャラクター
どんぐりちゃん

公益社団法人岩手県緑化推進委員会

【公 1 緑化啓発促進事業】

- 1 第 54 回岩手県緑の少年団大会
(岩手県、八幡平市、岩手県緑の少年団連盟、治山林道協会)
- 2 ふるさとの巨樹・名木観察会(奥州市地域)(緑化推進委員会)
- 3 環境緑化普及啓発公募事業(助成)
 - ・ 遠野市緑化祭「里山フェスタ 2023」(遠野市緑化祭実行委員会)
- 4 市町村支部等環境緑化普及啓発事業
 - ・ 一関地方育樹祭(一関支部)
 - ・ 木工工作キット配布事業(大槌支部)
 - ・ 森林ボランティアによる全国植樹祭開催記念植樹会(緑化推進委員会)

【公 2 緑の募金事業】

- 1 森林整備公募事業(助成)
 - ・ 東日本大震災復興事業(特定非営利活動法人高田松原を守る会)
 - ・ 地域緑化活動推進事業(山王海土地改良区)
 - ・ 地域緑化活動推進事業(田山地域振興協議会)
 - ・ 地域緑化活動推進事業(南丸大県北農林)
- 2 緑化運動コンクール
 - ・ ポスター原画岩手県コンクール(緑化推進委員会)
 - ・ 標語コンクール(緑化推進委員会)
- 3 緑化功労者の表彰(花巻市 横田幸介氏)
- 4 森の学校・森の先生事業
 - ・ 森林学習会(葛巻町立小屋瀬小学校)
- 5 市町村支部等緑化推進事業
 - ・ 植樹祭環境整備事業
 - ・ 少年団装備品等整備事業
 - ・ 全国植樹祭連携事業(緑いっぱい森だくさん活動事業)
 - ・ ユリノキ積木等贈呈事業
- 6 緑の募金活動の推進(緑化推進委員会)

【公 3 県民の森管理運営事業】

県民の森行事の様子

行事写真等

【公1 緑化啓発促進事業】

1 第54回岩手県緑の少年団大会 (R5.7.28 (金)) 八幡平市「岩手県県民の森」



開会式



少年団結成周年表彰



植樹会



森林体験学習



木工工作

14少年団が植樹や森林学習を実施

岩手県緑の少年団結成50周年表彰も

第54回岩手県緑の少年団大会は、7月28日午前9時、秋田県、福島県から参加して開会式を挙げて、当日植える木を守つていこうと、少年団の活動が、県民の森で開かれた。

大会は、7月28日午前9時、秋田県、福島県から参加して開会式を挙げて、当日植える木を守つていこうと、少年団の活動が、県民の森で開かれた。

大会は、7月28日午前9時、秋田県、福島県から参加して開会式を挙げて、当日植える木を守つていこうと、少年団の活動が、県民の森で開かれた。

大会は、7月28日午前9時、秋田県、福島県から参加して開会式を挙げて、当日植える木を守つていこうと、少年団の活動が、県民の森で開かれた。

大会は、7月28日午前9時、秋田県、福島県から参加して開会式を挙げて、当日植える木を守つていこうと、少年団の活動が、県民の森で開かれた。

緑守る心育み未来へ 県少年団大会

八幡平 第54回岩手県緑の少年団大会(県緑の少年団結成50周年大会)は、28日、八幡平市民の森で開かれ、県内外の各支部の代表が参加し、開会式が行われ、県民の森で開かれた。

大会は、7月28日午前9時、秋田県、福島県から参加して開会式を挙げて、当日植える木を守つていこうと、少年団の活動が、県民の森で開かれた。

大会は、7月28日午前9時、秋田県、福島県から参加して開会式を挙げて、当日植える木を守つていこうと、少年団の活動が、県民の森で開かれた。

大会は、7月28日午前9時、秋田県、福島県から参加して開会式を挙げて、当日植える木を守つていこうと、少年団の活動が、県民の森で開かれた。

大会は、7月28日午前9時、秋田県、福島県から参加して開会式を挙げて、当日植える木を守つていこうと、少年団の活動が、県民の森で開かれた。

岩手日報 (R5.7.30 付記事)

岩手林業新報 (R5.8.8 付記事)

2 ふるさとの巨樹・名木観察会

・奥州市地域 R5.11.4 (土)



羽田八雲神社のイロハモミジ (水沢羽田町)



月山神社のアカマツ群 (前沢生母)



北館のエドヒガン (衣川横道下)



松山寺のカヤ (衣川女石)

<p>る。貴重な樹木を紹介し、そのふれあいを通じて緑化意識の醸成を図ることを目的に、一般公募で参加者を募って行われている。</p> <p>観察した巨樹・名木は、いずれも奥州市の水沢羽田町「八雲神社のイロハモミジ」(推定樹齢200年以上)、前沢生母「月山神社アカマツ群」(同100〜400年)、衣川横道下「北館のエドヒガン」(同300年以上)、衣川女石「松山寺のカヤ」(同500年)、水沢「大手</p>		<p>奥州市地域で巨樹・名木の観察会 緑化推進 今年で40回目の開催 委員会</p> <p>(公社)岩手県緑化推進委員会の「ふるさとの巨樹・名木観察会」は4日行われ、参加者など約20人が奥州市地域の5カ所の巨樹・巨木を巡った。</p> <p>緑の募金を活用した観察会は、平成8年から行われ、県内各地の巨樹・名木を巡って今年で28年、40回目となる。</p>
<p>町のスギ(同400年以上)の見事な巨樹・名木で、月山神社のアカマツ群以外は、いずれも市指定天然記念物となっている。</p> <p>観察会では、木の特徴や歴史、育った地域の歴史など、講師の橋本良二岩大名誉教授の話聞きながら見学した。参加者へのアンケートでは、北館のエドヒガンが一番人気だった。</p>		

岩手林業新報 (R5.11.17 付記事)

3 環境緑化普及啓発公募事業（助成）

- ・ 遠野市緑化祭「里山フェスタ 2023」（遠野市緑化祭実行委員会 R5.6.10（土））



4 市町村支部等環境緑化普及啓発事業

- ・ 一関地方育樹祭（一関支部 R5.9.30（土））

一関川崎町地内）



- ・ 木工工作キット配布事業（大槌支部 R5.7月～8月）



・森林ボランティアによる全国植樹祭開催記念植樹会/アジサイ植樹（岩手県緑化推進委員会 R5.8.26（土））



全国植樹祭開催を記念しアジサイ植樹
緑推委の県民の森 ボランティア活動 第52回森林組合デーも併催

第52回草津森林組合デーは、豊かな森林の再生と県産材の安定供給を、森林組合が主軸となって進めようとするテーマに、8月最終木曜日を中心に行われた。

森林組合デーは、県森連創立30周年記念式典における職員連盟の提案で、昭和47年から本県独自の取り組みとして行われている。森林の重要性、森林組合の役割等をアピールするため奉仕活動や研修、講習会等を実施し、情報発信しており、開催された岩手県で2週目と県森連では、26日に八幡平市の「岩手県民の森」で行われた「公社」県緑化推進委員会「森林ボランティア」による「森林組合デー」との

アによる全国植樹祭開催記念植樹会に参加した。ボランティア活動には、県産材の安定供給を、森林組合が主軸となって進めようとするテーマに、8月最終木曜日を中心に行われた。

関係市町、林業関係16団体を主軸とした「アジサイ植樹」で、最大約140人が参加した。アジサイを植樹した。作業に先立ち、県緑推委理事長の中崎和久県森連会長が、「岩手県民の森は、本県で開催された第1回の全国植樹祭を記念して造成された。そして、今年のもう一度、アジサイを植樹して頂きたい」とあいさつした。

また、藤代克彦県農林水産部長は、「全国植樹祭の開催を機に、県民の皆様が森林・林業への関心が高まるとともに、森林の循環利用、木材利用を進めて参りたい」とあいさつした。

この後、参加者は3班に分かれて記念の森の道路沿いにアジサイの苗300本を植樹した。以前、シラカバの街路樹が植えられていたが、カミキリムシの食害で倒木の危険があるため伐採してアジサイを植えることとした。アジサイは牧野富太郎博士がその優美な姿から名付けたヒメアジサイと、大きくて白い花の咲く西洋アジサイのアナベルの2種類で、参加者は固く絡まったシバに苦勞しながら汗だくになって植え穴を掘り、植え付けていった。

岩手林業新報（R5.8.29 付記事）

緑守る思いを苗木に
県内森林ボランティア
県民の森でアジサイ植樹

八幡平
 陸前高田市 日、八幡平市松尾木町の県民の森で開かれ、参加者がアジサイの苗木を植樹して笑顔を見せる丹藤川自然愛護少年団の子どもたち

初め全国植樹祭会場となった「記念の森」近くの道路沿いに、アナベルとヒメアジサイの2種計300本の苗木を植樹した。

岩手町の丹藤川自然愛護少年団は児童5人が参加。炎天下で汗を拭いながら、わで穴を掘り、一本ずつ丁寧に植樹し、記念看板も設置した。同少年団の岩瀬紗奈さん（川口小3年）は「苗の植え方が分かって楽しかった。今後も緑や昆虫を守る気持ちを大切に活動に励みたい」と声を弾ませた。

1974年に本県が参加。1974年に本県が参加。1974年に本県が参加。

岩手日報（R5.8.28 付記事）

【公2 緑の募金事業】

1 森林整備公募事業（助成）

- ・東日本大震災復興事業/ハマナス等移植事業（特定非営利活動法人高田松原を守る会 R5.4.8（土））



- ・地域緑化推進事業/平成の森下草刈り及び植樹等（山王海土地改良区 R5.7～9月）



- ・地域緑化推進事業/オオヤマザクラ苗木植樹（田山地域振興協議会 R5.9～10月）



- ・地域緑化活動推進事業/地元小学生を対象とした植林体験（有丸大県北農林 R5.9.25（月））



2 緑化運動コンクール

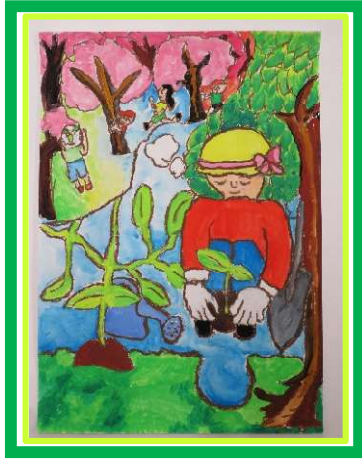
・令和6年用国土緑化・育樹運動ポスター原画 岩手県コンクール

≪ 最優秀賞 ≫ 3作品

【小学校の部】

【中学校の部】

【高等学校の部】



盛岡市立城北小学校 4年
岡田 梓



一関市立花泉中学校 3年
熊谷 遼子



岩手県立不来方高等学校 3年
菊池 梨佳

≪ 優秀賞 ≫ 11作品

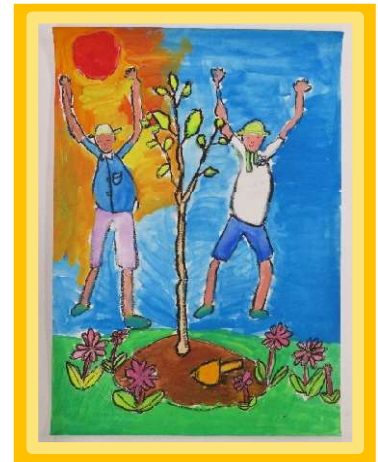
【小学校の部】



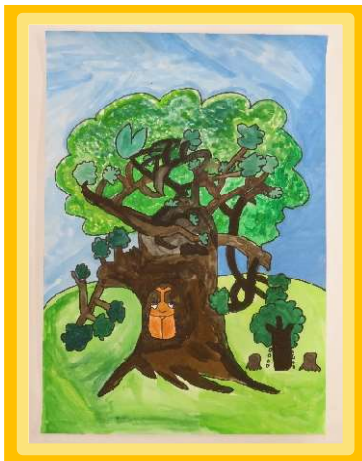
盛岡市立城北小学校 1年
山中 みず樹



盛岡市立城北小学校 2年
松波 千畝



盛岡市立城北小学校 3年
久保田 楓



北上市立二子小学校 5年
齋藤 凧人



北上市立江釣子小学校 6年
及川 結菜

【中学校の部】



盛岡市立河南中学校 1年
佐藤 日和



北上市立北上中学校 3年
上川原 千尋



北上市立上野中学校 2年
千葉 星香

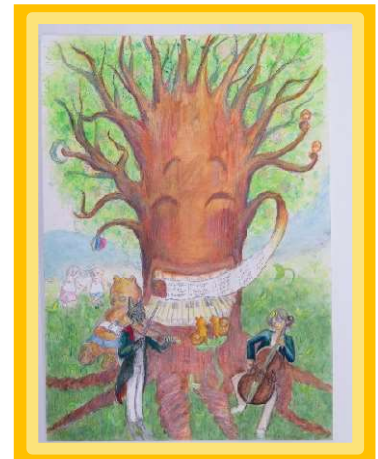
【高等学校の部】



岩手県立杜陵高等学校 1年
橋場 健太



岩手県立杜陵高等学校 2年
立澤 知季



岩手県立杜陵高等学校 3年
佐藤 雛歌

《佳作》小学校の部10作品、中学校の部10作品、高等学校の部7作品 計27作品

岩手県コンクール入選作品 14 作品を国土緑化推進機構主催の全国コンクールに推薦したところ、3作品が入選しました。

入選 小学校の部 岡田 梓 (盛岡市立城北小学校4年)
久保田 楓 (盛岡市立城北小学校3年)
中学校の部 熊谷 遼子 (一関市立花泉中学校3年)

・ 標語コンクール 岩手県推薦作品（緑化推進委員会）

令和6年用 国土緑化・育樹運動標語 全国コンクール提出作品

標 語	氏 名	学校名
その芽から つながる思い つなげる未来	工藤 歩由	八幡平市立 平館小学校4年
全員で みどり保とう 未来まで	黒澤 優衣	盛岡市立 飯岡中学校2年
育てよう 大事な樹木と 地球の未来	瀬川 悠斗	盛岡市立 飯岡中学校1年
木をふやし みどりいっぱい 気持ちいい	田村 嶺王	盛岡市立 飯岡中学校1年
木を植えて みんなで自然の お手伝い	田森 行人	紫波町立 古館小学校3年
今植えた 苗木に託す 大きな未来	藤田 久美子	一般
育くもう 伸びゆく緑が 未来をてらす	藤田 若葉	岩手県立 花巻北高等学校3年
小さい木 いっぱい育てて 大きい木	細川 叶夢	盛岡市立 飯岡中学校2年
守ろうよ みどりを減らさず 増やそうよ	貉澤 朋輝	盛岡市立 飯岡中学校1年
木を植える 地球にやさしい 環境づくり	森 遥翔	盛岡市立 飯岡中学校2年

(五十音順)

3 緑化功労者の表彰（東北・北海道地区緑化推進協議会会長賞 花巻市 横田幸介氏）



4 森の学校・森の先生事業

・ 森林学習会（葛巻町立小屋瀬小学校 R5.5.13（土） 葛巻高原牧場）



5 市町村支部等緑化推進事業

・植樹祭環境整備事業（プランター飾花等の整備）



・少年団装備品等整備事業（少年団ユニフォーム、普及資材等整備）



・全国植樹祭連携事業/緑いっぱい森たくさん活動事業（7少年団 R5.7~11月）



花木（低木等）の植樹活動



樹木への名札付け活動



花壇等の整備活動



出前木工教室

・ユリノキ積木等贈呈事業（内陸市町村の13園に贈呈）



3サイズの積木計90個入り（特製木箱付）



盛岡支部（R5.11.28 つつみ幼稚園ほか）



遠野支部（R5.11.29 光の園幼稚園ほか）



葛巻支部（R5.12.15 江刈保育園ほか）

そのほか

- ・九戸支部（3園）
- ・軽米支部（2園）
- ・一関支部（2園）

6 緑の募金活動の推進（緑化推進委員会）



バス前面垂幕 (3/20~5/31 岩手県交通)



バス車内でのポスター掲示 (3/20~5/31岩手県交通)



主な駅へのポスター掲示 (4/1~5/12 IGR 盛岡)



緑の募金箱設置協力 (R5 年春季・秋季募金)



ポスター原画コンクール入賞作品の展示 (4/29~5/7 クロステラス盛岡)

岩手日報広告 (R5.4.15)

【公3 県民の森管理運営事業】



2月 七滝ナイトツアー



2月 七滝氷瀑・巨木ツアー



5月 八幡平さくらまつり



6月 大地獄谷登山



6月 新緑の森と七滝散歩



9月 きのご教室



10月 八幡平紅葉まつり



12月 門松教室

・令和6年度の行事もたくさん予定しております。
詳しくは、岩手県県民の森ホームページ (<http://www.kenminnomori.com/>) をご覧ください。

「緑の募金」へのご協力をお願い

皆さまからご協力いただいた「緑の募金」は、身近な地域はもちろん、国内外のさまざまな森づくり・人づくり活動へと活かされます。「緑の募金」は皆様の思いを確実に「緑の輪」として広げます。個人、又は自治会や学校、あるいは職場で共同で募金する等、「緑の募金」にご協力をお願いいたします。

【募金の活用例】

- ・ 緑の募金及び緑化運動の推進
- ・ 緑化思想の普及啓発
- ・ 県民参加の森林づくり活動支援及び環境緑化の推進
- ・ 学校林整備・学校環境緑化活動の推進
- ・ 緑の少年団等の育成及び活動支援
- ・ 東日本大震災復興事業に対する支援など



● 第54回岩手県緑の少年団大会



● 県民の森ボランティア活動



● ふるさとの巨樹・名木観察会

【募金の方法】

店頭や職場等の募金箱、振込用紙、直接持参、緑の募金協賛商品の購入等を通じて募金することができます。

【募金期間】



春季緑の募金運動推進期間 3月20日～5月31日
秋季緑の募金運動推進期間 9月1日～10月31日

「緑の募金」キャラクター
どんぐり君



公益社団法人 岩手県緑化推進委員会

〒020-0021 岩手県盛岡市中央通三丁目15番17号 TEL: 019-625-0310



当該資料掲載の新聞記事は、岩手日報社および岩手林業新報社の許諾を得て転載しています。